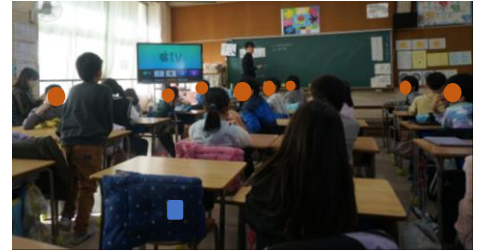




昨日(月)の5時間目に、3年生とふれあい学級で研究授業が行われました。2学級共に学級活動の授業を行い、子供たちも授業の中で伸び伸びと自分の意見を発表していました。その様子を紹介します。

## 3年生研究授業

3年生は、情報機器の使い方についての授業でした。授業のはじめは、アンケート「スマホやゲーム・タブレットを使うときはルールを守って使えているか」では、子供たちより、親の方が我が子は「守っている」という回答が多く、その認識のズレに子供たちは驚きを隠せず、スマホやタブレットの使い方への意識が高まりました。そして、そもそもなぜ、ゲームやスマホを使い過ぎてはいけないのかという担任の代口先生の問いに、「目が悪くなる」「眠れなくなる→体の成長に悪い。」など、情報端末の使い方次第では、様々な弊害があることを理解していきました。そして、5種類のカード【家族と遊びに行くときは、いつもスマホやゲームを持っていく・お小遣いはほとんどゲームに使っている・いつもネットやゲームの話ばかりする・友達と話しているときにスマホやゲームで遊んでいる・ネットやスマホに夢中になるとあっという間に時間が経ってしまう】の中から、自分に当てはまるものを選んで、同じカードを選んだ者同士で解決する方法を考えていきました。その後、全体で共有し、よりよい解決方法について理解していきました。



子供たちはこの後、自分に合っためあてを立てて、スマホやタブレットとの付き合い方を考えていきます。お家でもお子さんがどんなめあてを考えたのか是非聞いてみてください。そしてめあてを実践し、自分たちの生活改善へと繋げていって欲しいと思います。

## ふれあい学級研究授業

ふれあい学級は、新一年生に学校紹介をするために、自分に合った気持ちや考えの伝え方を見つけていくという授業でした。家族やふれあい学級の友達には、気持ちや考えを伝えることができるのに、それ以外の人にはやや苦手意識があることが、アンケートから気付いていきます。そして、担任の椎山先生が、そもそもなぜ相手に自分の気持ちや考えを伝えた方がいいかを問うと、子供たちは「もっと仲良くなれる。」「困ったときに助けてもらえる。」と気づき始めます。その後、相手に自分の気持ちや考えを伝えるときのポイントを考えていきます。そして、「相手に聞こえる声の大きさ」「相手の顔を見て」「姿勢よく」「相手にわかる言葉をつかう」「ゆっくり」等のポイントを確認すると、1人ずつがペアを組んだ相手に向かってロールプレーをしていきます。その様子をタブレットで撮り合いながら、伝え方はこれでよかったのかポイントと照らして、振り返っていきました。ロールプレーは、参観に来ていた先生たちにも披露し、アドバイスや賞賛を得ていました。その後の振り返りでは、伝え方の中でよくなったところを発表していました。



自分たちで課題に気づき、それを解決しようとする経験はとても貴重な学びの時間となりました。今後の新一年生への対応が楽しみですね。